

22104 公衆衛生学Ⅰ a、b Public Health I		2 年次～ 前期 2 単位																	
担当者	村上 りつ子	履修可能学科	F必																
		関連資格	管理・栄養・食衛（F）																
サブタイトル																			
授業内容 ・ ねらい	<p>公衆衛生学の目標は、個人および集団としての人の健康を保持・増進し、ひいては生活の質を向上させることにあります。</p> <p>公衆衛生学Ⅰの授業では、健康の概念、人の健康に係る要因としての社会・環境について理解を深め、保健行動に関わる統計資料の役割など基礎的な事項を学び、疾病予防への活用法の習得に努めます。</p>																		
授業計画	<table border="0"> <tr> <td>1. 健康の概念と公衆衛生の意義・歴史</td> <td>8. 疫学・疫学調査の方法</td> </tr> <tr> <td>2. 環境と健康－生態系の中の人間生活・環境と健康</td> <td>9. 根拠に基づいた医療</td> </tr> <tr> <td>3. 環境と健康－地球的規模の環境</td> <td>10. スクリーニング・サーベイランス</td> </tr> <tr> <td>4. 環境と健康－化学物質による環境問題</td> <td>11. 生活習慣の現状と対策－行動科学・健康の現状</td> </tr> <tr> <td>5. 環境と健康－有害化学物質による環境汚染と保全対策</td> <td>12. 生活習慣の現状と対策</td> </tr> <tr> <td>6. 環境と健康－環境衛生</td> <td>13. 主要疾患の現状と予防対策－生活習慣病</td> </tr> <tr> <td>7. 保健統計・健康情報</td> <td>14. 主要疾患の現状と予防対策－感染症</td> </tr> <tr> <td></td> <td>15. 主要疾患の現状と予防対策－精神保健</td> </tr> </table>			1. 健康の概念と公衆衛生の意義・歴史	8. 疫学・疫学調査の方法	2. 環境と健康－生態系の中の人間生活・環境と健康	9. 根拠に基づいた医療	3. 環境と健康－地球的規模の環境	10. スクリーニング・サーベイランス	4. 環境と健康－化学物質による環境問題	11. 生活習慣の現状と対策－行動科学・健康の現状	5. 環境と健康－有害化学物質による環境汚染と保全対策	12. 生活習慣の現状と対策	6. 環境と健康－環境衛生	13. 主要疾患の現状と予防対策－生活習慣病	7. 保健統計・健康情報	14. 主要疾患の現状と予防対策－感染症		15. 主要疾患の現状と予防対策－精神保健
1. 健康の概念と公衆衛生の意義・歴史	8. 疫学・疫学調査の方法																		
2. 環境と健康－生態系の中の人間生活・環境と健康	9. 根拠に基づいた医療																		
3. 環境と健康－地球的規模の環境	10. スクリーニング・サーベイランス																		
4. 環境と健康－化学物質による環境問題	11. 生活習慣の現状と対策－行動科学・健康の現状																		
5. 環境と健康－有害化学物質による環境汚染と保全対策	12. 生活習慣の現状と対策																		
6. 環境と健康－環境衛生	13. 主要疾患の現状と予防対策－生活習慣病																		
7. 保健統計・健康情報	14. 主要疾患の現状と予防対策－感染症																		
	15. 主要疾患の現状と予防対策－精神保健																		
教科書 参考書	教) 苫米地孝之助 編著『Nブックス 社会・環境と健康 改訂公衆衛生学』（建帛社）																		
評価方法	筆記試験、出席状況、受講態度により評価します。																		
事前準備学習 履修条件等																			